

2026 年度 総合型選抜（11 月募集）【課題型（プレゼンテーション）】

建築・環境学部 建築・環境学科

1. プレゼンテーション課題

この課題は、2025 年の大阪・関西万博において建設された建築物を題材に、受験生の建築への関心、観察力、表現力を評価することを目的としています。

今年開催された大阪・関西万博では、1970 年の大阪万博以来、55 年ぶりに参加国が自国のパビリオンを自由に設計・建設できる「自由建設方式」が本格的に採用され、建築的な多彩さが万博の大きな特徴のひとつとなりました。

このような博覧会の意義や特徴を踏まえ、以下の課題に取り組んでください。作業にあたっては、あなた自身がどの建築に関心を持ち、なぜそれが重要だと考えたのかが伝わるようにまとめてください。建築や環境に対する関心と意欲が感じられるような、主体的で意識的な表現を期待します。

【課題】

大阪・関西万博で建設された建築物の中から関心を持ったものを 2 つ選び、それぞれについて文献やウェブサイトなどを通じて調査を行い、その特徴が伝わるような図面・スケッチと解説文を作成してください。解説対象は大阪・関西万博の会場内に建てられた建築物であれば、各国のパビリオンでなくても構いません。

- ・図面・スケッチは必ず手描きとします（手描きスケッチをスキャン／写真撮影してまとめてもよい）。
- ・解説文は、手書き・PC 出力いずれでも可とします（400 字以内／1 件につき）。
- ・解説は、展示内容だけでなく「建築的な視点」から行うことを重視してください。

「建築的な観点」とは、以下のような視点を含みます。

- ① 建築デザインの傾向や表現手法
- ② 構造形式や使用材料の特徴
- ③ 環境への配慮（省エネルギー設計、持続可能性など）

・図面・スケッチと解説文を美しくレイアウトし、A3 片面横使いのプレゼンテーションシート 2 枚にまとめてください。（1 枚につき 1 件、計 2 枚）

2. 実施要領および諸注意

【出願時】

課題の作成物は、その他の出願書類と一緒に送付してください。

【当日の内容（合計：20 分）】

- (1) プレゼンテーション：5 分、口頭試問：5 分程度
- (2) 面接（10 分）

※試験当日、プレゼンテーション及び口頭試問と面接は連続して行われます。

事前に提出した A3 サイズの課題の作成物を黒板に掲示して、その前でプレゼンテーションを行ってもらいます。プロジェクターなどの機器を使うことはできません。

【諸注意】

- ・参考にした文献、Web サイト等は、課題の作成物に明記してください。
- ・提出前にコピーをとり、手元に保管してください。課題の作成物の裏面には、全てに氏名を記載してください。
- ・出願時に提出した課題の作成物は、返却いたしません。

3. 評価の視点

課題の作成物及び当日のプレゼンテーションの内容を総合的に評価します。

【指定書式の有無、作成方法】

指定書式の有無	☒ 有 ☐ 無
課題の作成物 作成方法	☐ ワードプロソフトのみ ☐ 手書きのみ ☒ どちらでも可

【出願時に提出するもの】

提出物の有無、提出方法	☒ 有 （ 課題の作成物 ） 用紙サイズ：A3 部数：1 ☐ 無
-------------	--

【試験当日に持参するもの】

（要否欄：必：必ず持参するもの ○：持参して使用が可能なもの ×：使用が不可なもの —：該当なし）

内容	要否	詳細・その他備考
①課題に関する作成物	必	（事前に提出した A3 サイズの作成物の縮小コピー） 自分用：1 部 試験官用：3 部 用紙サイズ：A4
②USB メモリの持参	—	

【その他】

プレゼンテーションの際、 パワーポイント発表者ツールの使用可否 （発表でパワーポイントを使用する場合のみ）	該当なし
プレゼンテーション実施にあたり 大学側が準備するもの	課題の作成物を掲示するための黒板 等

※大学で用意する PC の OS は Windows10、ソフトは office2019 が使用可能です。

※「出願時に提出したものと同一ものを試験当日に持参すること」となっている場合、出願後に、作成した資料内容の変更は行わないでください。

※準備する資料の形式、条件等の詳細は「2. 実施要領および諸注意」も参照してください。

※課題の中で許可されているもの以外は、試験時間中に使用することはできません。